

事務事業マネジメントシート(令和 6年度実績と令和 7年度計画)

令和 7年 6月23日更新

事務事業名		有害鳥獣駆除事業		<input type="checkbox"/> 安全・安心に暮らせるまちづくりの推進 <input type="checkbox"/> 「こどもまんなか社会」の構築 <input type="checkbox"/> 産業の共生による市経済の持続的発展			
総合計画体系	政策	6	産業の健全	所属部	産業振興部	課長名	坂本 卓博
	施策	23	農業の振興	所属課	農政課	担当者名	富永 麟盛
	業務分野	67	生産基盤の確保と経営力の強化	所属班	農政班	(内線)	5224
予算科目		会計一般	款 6	項 2	目 1	事業連番	10261
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 6年度で終了 <input type="checkbox"/> 6年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化・関係者からの意見や要望を含む)	農作物に被害を及ぼすカラス等の駆除を、合志地区、西合志地区の駆除隊に委託をしている。近年は環境の変化により繁殖能力が高い群れがいるものと思われ、駆除後も被害報告が出てきている。また、イノシシやニホンジカについても本市で確認されている。
【業務の流れ】	駆除依頼受付後、該当地域の駆除隊へ連絡、駆除報告委託料支払い事務
【主な予算費目】	職員手当等、役務費、委託料

(1)事務事業の振り返り・計画

①6年度事務事業の成果・実績
鳥獣被害が発生する地域や集落からの連絡等を受けて随時出動し、被害抑制(忌避剤散布、追い払い等)や危険防止(防災無線による周知)対策を行った。また、年間を通じて対応できるよう有害鳥獣駆除事業委託(カラス・イノシシ)を実施した。
【基準に達しなかった理由】
カラスの苦情件数及び出動件数が少なかったため。

②7年度計画(次年度に計画している主な内容)	③予算の主な増減の理由
有害鳥獣駆除委託契約事務 駆除依頼受付後、該当地域の駆除隊へ連絡、駆除報告、委託料支払い事務	軽トラック車検代の増

成果指標	(単位)	データ取得方法
ア 被害額の対前年比 現年度額/前年度額	%	

(2)成果指標・総事業費の推移		単位	4年度	5年度	6年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度
			実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込
成果指標	ア	%	15	47	80	38	80	80	80	0
事業費	国庫支出金	千円								
	都道府県支出金	千円	218		255	264	218	218	218	218
	地方債	千円								
	その他	千円	11	11	10	4	10	10	10	10
	繰入金	千円								
	一般財源	千円	392	644	821	561	617	617	617	617
	(A) 事業費計	千円	621	655	1,086	829	845	845	845	845

(3)評価の総括(成果向上の余地・事業費削減の余地)
有害鳥獣による被害報告を数年スパンで見ると増加傾向にあり、それに伴い駆除隊への捕獲依頼も増加傾向にある。また、いのしし、カラスだけでなく、サル及びニホンジカの出没の報告もあった。

(4)今後の事業の方向性
廃止
 縮小
 事業のやり方改善
 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)